

質問に対する回答

工事名) 八戸自動車道 楡引馬淵川橋耐震補強工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>特記仕様書 24-2 構造物掘削</p> <p>埋戻し部への運搬、敷均し、締固め後に余る掘削残土の取り扱いについてご教示願います。</p>	<p>特記仕様書 24-2-2 (3) のとおり、仮置場に敷均しとして下さい。</p>
2	<p>設計図面 市川橋上下線 8/63</p> <p>市川橋(上り線) A2 橋台の縁端拡幅の高さは、ハッチングの通り、一律 1.5m でなく、左側は 1.778m でしょうか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
3	<p>設計図面 奥入瀬川橋上下線 8/231、11/231、14/231、17/231</p> <p>かぶり詳細図に本体打込み式アンカー M12(エポキシ樹脂注入)とあるので、積算においてエポキシ樹脂注入費用が計上されていると考えてよろしいですか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
4	<p>特記仕様書 8. 関連施設その他との関係</p> <p>楡引馬淵川橋 P2～P3、楡引馬淵川橋 P6～P7、楡引馬淵川橋 P9～A2 の法定外道路は、施工中、通行止めにする計画でしょうか。又は、一般開放する計画でしょうか。</p>	<p>楡引馬淵川橋 P2～P3、楡引馬淵川橋 P6～P7、楡引馬淵川橋 P9～A2 の法定外道路は、施工中、通行止めをせず、通行帯を確保する計画です。</p>
5	<p>特記仕様書 24-2 構造物掘削</p> <p>構造掘削(特殊部 0)の作業内容確認。「特記 24-2-1 定義 2) 鋼矢板を用いた土砂(土砂 B・C)の掘削」とは、施工基面+2.570 から下の掘削と考え、上部の低水敷堤防土は対象としない。でよろしいかご教示ください。</p>	<p>構造物掘削(特殊部 0)の作業内容は、施工基面+2.570 から下の掘削としてお考え下さい。上部の低水敷堤防土については、特記仕様書 24-2-5 率計上工事に関する事項の対象となります。</p>